

## 三井住友海上火災保険株式会社

### 取組の特徴

2017年度テレワークを含む働き方改革を全社で取組開始。

退社時間を「遅くとも原則19時前」と定めるとともに、社内ICT環境や勤務実態把握ツール等を整備し、オフィス内外で効率的な働き方を推進。

育児休業中でも、社内クラウドソーシングの仕組みを使って、業務に携わりながら業務スキルを維持でき、職場にとっても業務効率化につながるシステムを自社開発。

### 【主な効果】

- 2017年度残業時間10%削減（前年度比）
- 出産後就業継続率向上（2014年度93%→2016年度以降95%以上）
- 2017年度在宅勤務の延べ利用者数約2,500名（前年度比300%）

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○

## 企業の概要

社名	三井住友海上火災保険株式会社	都道府県	東京都
業種	金融業, 保険業	従業員数	19,759人
事業概要	金融業, 保険業		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務規定
テレワーク担当部署	人事部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	総実施者数 約6,000人 (2018年3月時点)
実施日数	約15回/月 (モバイルワーク)

## テレワークの導入・拡大の経緯

柔軟な働き方を可能とする手段としてテレワークを2016年10月より実施。あわせて、オフィス内の働き方改革も進め、2017年4月より、退社時間を「遅くとも19時前」と定めた取り組みを全社で実施。その結果、長時間労働の改善、ペーパーレス効果、と合わせ、テレワークの利用者も順調に増加している。在宅勤務の利用者数(延べ)は 2016年度796人→2017年度2,461人(前年比300%)

## テレワークの概要・特徴

### 1、【出産後就業継続率の向上】

育児休業中でも、自社開発の「MSクラウドソーシング」という社内クラウドソーシングの仕組みを使って、所属部署の業務状況を把握でき、繁忙期に不定期で作業支援ができる。クラウドソーシングという仕組みにより、必要な時に必要なことだけを業務内容を切り分けて明確に依頼ができる体制を構築している。結果、子供や自分の体調に合わせて、最適な仕事の内容や量を実施することができる。無理をせずに作業ができて、同時にコミュニケーションや仕事の勘を維持できることで、職場復帰がしやすいと育児休暇中の社員から好評を博している。

### 2、【オフィスワーク見直しを含む「働き方改革」を全社で実施】

2017年4月より、テレワークを含む働き方改革に全社で取り組み、退社時間を「遅くとも19時前(在宅勤務時も同様)」と定め、経営トップが「限られた時間で生産性高く働く」ことを強く打出した。同時に社内ICT環境を整備し、自席以外でも働きやすくすることでコミュニケーションが活性化。テレワークによる効率化と併せてオフィスの内外で効率の良い働き方を推進できている。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

### 【時間外労働の削減】

テレワークを含む働き方改革の結果、会社全体の時間外労働は2016年度の同時期と比較し、年間を通して平均約20分～25分程度短縮した。部署によってはひと月で平均90分削減できたところ、個人ではひと月で約120分削減できた例もある。また、残業時間に関しても前年度比10%の削減を達成した。

### 【出産後就業継続率】

MSクラウドソーシングの取組により出産後就業継続率が、H26年92.9%→H28年97.8%とさらに向上している。

### 【新卒採用への効果】

テレワークをはじめとする働き方改革に積極的に取り組んでいることをアピールしたことで、学生のエントリー数が昨年比で115%と増加。各種媒体による採用ランキングも急上昇した。

### 【社員満足度の向上】

2017年6月労働組合調査結果で「ゆとり創造に対する高い価値観が醸成されている」に対する「そう思う」の回答率が前年比で9.9%増加した。